

春秋2回のバス研修旅行と遺族会活動

板橋区遺族会

本会は、板橋・上板橋・志村・赤塚地区の4支部で構成し、日常的に活動を行っています。

4月に、4支部内の班長総会で定期総会の議案を審議し、総会での運営をスムーズに親交するよう努めています。

初行事は、8月15日の政府主催（日本武道館）と東京都・遺族連合会共催（文京シビックホール）の戦没者追悼式の参列者約50人を確保するため、各班長・支部長は汗をかきます。続いて、9月初旬に、「暑気払いの昼食会」で参加者と役員の交流を図ります。

昨年の11月9日には、東京都戦没者霊苑2階の会議室をお借りした、板橋区遺族会戦没者追悼式を実施し、1,812柱を祀る玄室の前で記念の集合写真を撮り、参加者に配布しました。午後には、戦後日本中を映画で楽しませてくれた俳優・渥美清の死没20周年にちなんで、柴又の「寅さん・山田洋次記念館」などを見学しました。

昨年度は千鳥ヶ淵墓苑参拝とヤクルト茨城工場を、一昨年は靖国神社昇殿参拝と草加でせんべいの手焼きを体験しました。

本年1月23日には、「29年新年会」を、区長、区議会議長などを招いて、会費3,000円で開催します。

来年3月には、春のバス研修旅行を実施する予定です。

年6回の班長会議にはほぼ20名の出席で、上部団体や社会福祉協議会など近隣友誼団体の情報交換や雑談で、会員相互に励ましあっています。

各支部・班での追悼式や供花は自主的に実施し、隔月に発行する情報紙には、発行元の会長名と電話番号の記載や区役所福祉部等の電話番号を記載し、情報が全会員に伝わるようにしています。

